

お客様のニーズに応えた製品・サービス

●「紙コンテナ」循環型物流サービスの提供

100回以上の再使用が可能な梱装箱「紙コンテナ」を核にして拠点間物流のトータルコストを削減する循環型物流サービスを開始します。現在、企業の大半が梱包に使用している段ボール箱は、ほとんどが再使用されていません。「紙コンテナ」は紙材を何重にも圧縮して段ボールの約6倍の強度を持たせた板紙でつくられており、段ボールと従来の緩衝材を使ったワンウェイ梱包に比べて材料使用量を最大で10分の1に削減することができます。また、レンタル契約を基本としているため、初期投資負担を気にせず導入することができます（買取方式も選択可能）。

梱包の対象としては、複合機のトナー・ドラムカートリッジ、パソコン、サーバー、POSレジ、液晶ディスプレイのほか、医療機器、アパレル、帳票類、書籍、美術品などさまざまな業界の拠点輸送に適用することが可能です。最大7倍に伸びる特殊ウレタンフィルムの緩衝材を組み合わせることでパソコンやカメラ、電子部品など精密品の梱包にもお使いいただけます。

【特長】

1. コンパクトに折りたたみ、元箱に最大10枚を収納して1箱として回収することが可能
2. 配送伝票は凹凸のある特殊フィルムにより再使用时は簡単にはがすことが可能
3. 特殊ウレタンフィルムで商品を上下から挟む構造のため、従来の緩衝材は不要
4. 特殊な形状やサイズでも対応するフルカスタムオーダー
5. 再利用が不可能になった「紙コンテナ」はトッパンフォームズが有償で引き取り、中間業者に引き渡し、一部は製紙会社で古紙として再資源化

物流コストの削減を計画している企業、環境対策意識の高い企業に向けて提供していきます。



作成事例

●医療業界でのRFIDを活用した取り組み

当社は病院内でのRFID活用を進めるため、2004年より群馬大学附属病院様と共同で実験を行ってきました。その成果の一つが、病院内の調剤作業でRFIDを活用し、調剤工

程の見える化を通して薬剤師の方々の作業負担軽減を目的とした「調剤工程管理システム」の導入(2012年)です。

従来の調剤作業では、医師が電子カルテシステムに処方オーダーを入力した後、調剤状況をオンラインで知る術はなく、例えば調剤完了を知るには電話での確認が必須でした。このため電話対応によって調剤作業が度々中断するなど、調剤作業の安全性や作業効率の低下が課題となっていました。この問題を解決したのが調剤工程管理システムで、以下の機能を通じて、調剤現場の課題解決を図りました。

- ・各処方箋がどの工程まで進んでいるかを、院内のウェブブラウザで確認可能
- ・調剤工程ごとの平均作業時間など、統計データの算出
- ・調剤室内に設置された大型モニターにより工程ごとの負荷率の可視化

結果、大学側からは、「問い合わせ件数の減少、調剤ミス要因の減少、複数サイトからのステータス同時閲覧により、患者と医療スタッフの双方に喜ばれるシステムになると期待している」と、本システムの導入効果について高い評価をいただきました。

また、これまでは実証実験が中心であった医療現場において実運用が開始され、また高い効果が期待できるとのことから、本システムは第14回自動認識システム大賞を受賞しました。

